

## IV 家内労働者の労働条件の現状（平成23年10月調査）

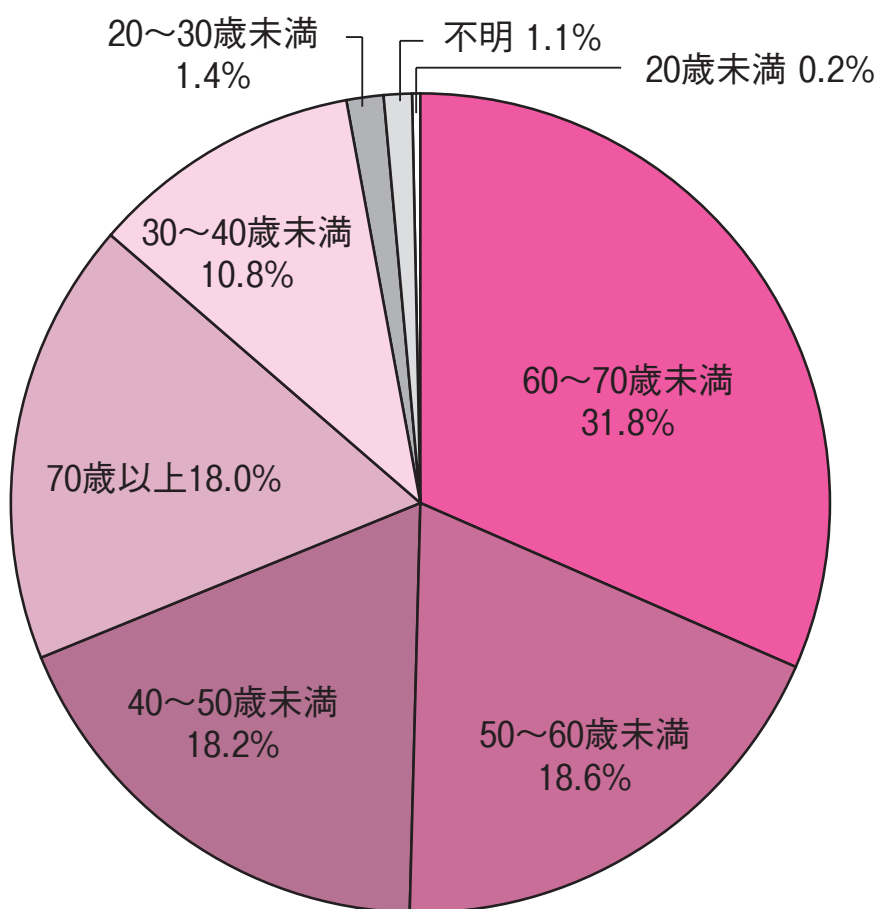
### 1 平均年齢は56.8歳、平均経験年数は12.1年

家内労働者の平均年齢は56.8歳で、これを男女別に見ると、男性が64.0歳、女性が56.0歳となっています。

年齢階級別に家内労働者の構成比をみると、第1図の通り、「60～70歳未満」が最も多く31.8%、次いで「50～60歳未満」が18.6%、「40～50歳未満」が18.2%と、これら3つの階級で全体の約7割を占めています。

また、家内労働者が現在の業務に従事してきた平均経験年数は12.1年であり、これを男女別にみると、男性は15.4年、女性は11.8年となっています。

第1図 年齢階級別家内労働者構成比



## 2 平均就業時間数は1日5.4時間、平均就業日数は1か月18.5日

家内労働者の平均就業時間数は、1日5.4時間であり、平均就業日数は、1か月18.5日となっています。

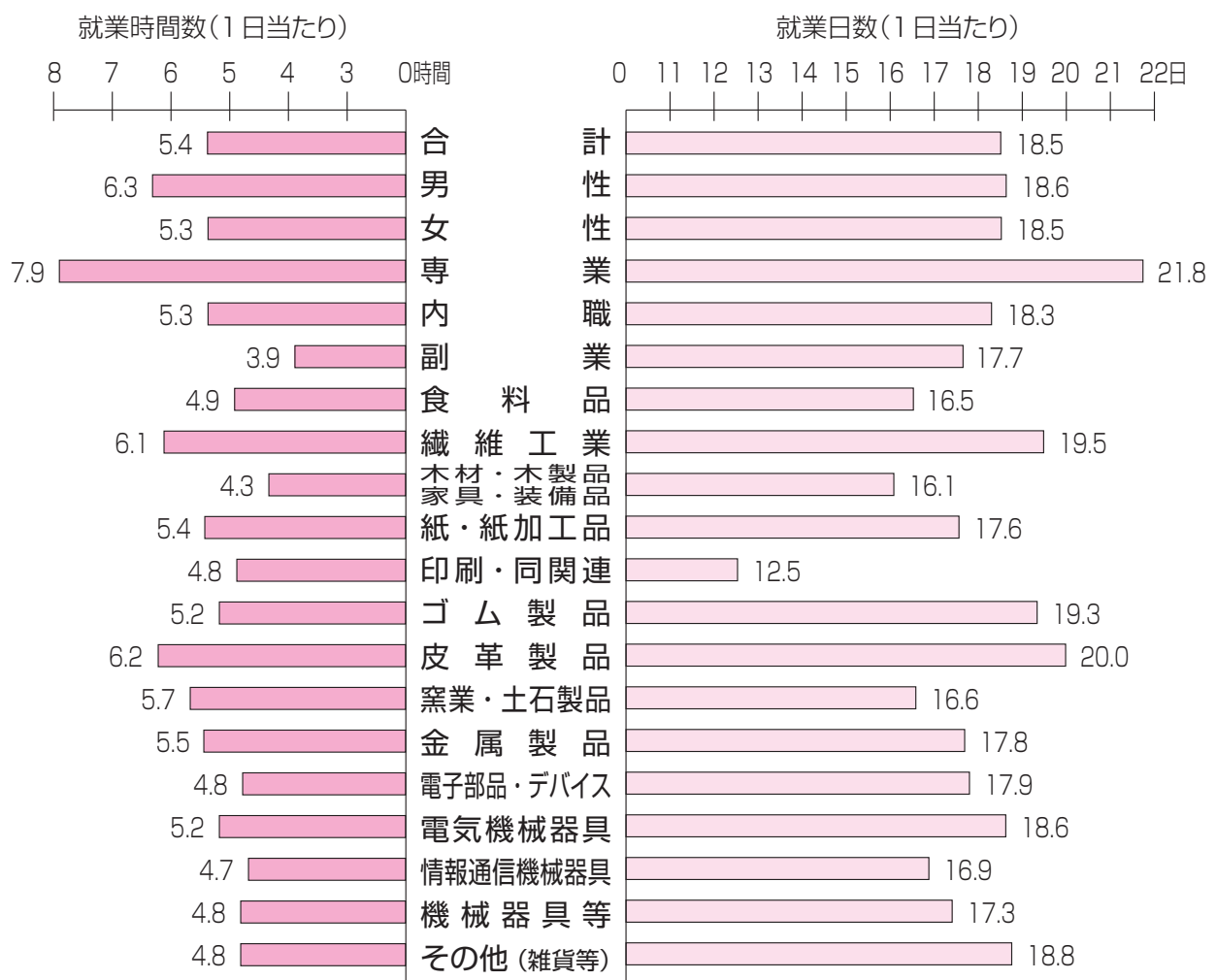
これを男女別にみると、男性の就業時間数は、1日6.3時間、就業日数は1か月18.6日であるのに対し、女性の就業時間数は1日5.3時間、就業日数は1か月18.5日となっています。

また、これを類型別にみると、専業は1日7.9時間、就業日数は1か月21.8日であるのに対し、内職は1日5.3時間、就業日数は1か月18.3日、副業は1日3.9時間、就業日数は1か月17.7日と、いずれも短くなっています。

次に、業種別に平均就業時間数をみると、「皮革製品」が6.2時間、「繊維工業」が6.1時間と、専業的家内労働者が比較的多い業種において長く、これに対して、「木材・木製品、家具・装備品」が4.3時間と最も短くなっています。

また、平均就業日数をみると、「皮革製品」が20.0日、「繊維工業」が19.5日、「ゴム製品」が19.3日と多く、これに対し、「印刷・同関連」が12.5日と最も少なくなっています。(第2図)

第2図 男女別、類型別、業種別1日当たりの平均就業時数  
および1か月当たりの平均就業日数



### 3 平均工賃額は1時間500円、1か月4万2,726円

家内労働者の1時間当たりの平均工賃額（必要経費を除く。）は500円で、これを男女別にみると、男性が714円、女性が478円となっています。

これを類型別にみると、専業が769円、内職が480円、副業が673円となっています。

また、これを業種別にみると「印刷・同関連」が707円と最も高く、次いで「金属製品」が693円、「窯業・土石製品」が623円となっているのに対し、「紙・紙加工品」は371円と最も低く、次いで「木材・木製品、家具・装備品」が380円、「電気機械器具」が419円となっています。

次に、1か月当たりの平均工賃額（必要経費を除く。）は4万2,726円で、これを男女別にみると、男性が8万4,030円、女性が3万8,369円となっています。

これを類型別にみると、専業が13万3,009円、内職が3万8,392円、副業が3万804円となっています。

また、これを業種別にみると、「皮革製品」が8万7,259円と最も高く、次いで、「金属製品」が6万4,289円、「窯業・土石製品」が6万189円となっているのに対し、「食料品」は2万3,611円と最も低く、次いで「木材・木製品、家具・装備品」が2万7,575円、「紙・紙加工品」が2万8,388円となっています。

### 第3図 男女別、類型別、業種別1時間および1か月当たりの工賃額

